

資料提供

(県政担当・田辺記者クラブ同時提供)

令和8年1月13日

報道関係の皆様へ

(公財)南方熊楠記念館

館長 高垣 誠

南方熊楠記念館 開館60周年記念 2025年度企画展 「南方熊楠の生前単行本出版から100年展」

南方熊楠記念館 2025年度企画展「南方熊楠の生前単行本出版から100年展」を令和8年1月31日(土)より開催します。

報道関係の皆様におかれましては、令和8年1月28日(水)午後2時から、この企画展に関する説明会を南方熊楠記念館(西牟婁郡白浜町3601-1)にて実施いたしますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

なお、この時間にご都合のつかない場合は、電話で担当までご相談ください。

記

【特別展概要】

令和8年2月は南方熊楠が初の単行本『南方閑話』を出版してから100年目の年です。本企画展では、南方熊楠が生前に出版した『南方閑話』『南方隨筆』『続南方隨筆』の3冊を取り上げます。これらの単行本は、熊楠が様々な雑誌に投稿した原稿を収録したもので、その後も続々と出版は続くはずでした。しかし熊楠の単行本出版は、『続南方隨筆』が最後になってしまいます。本展示では、なぜ熊楠は3冊で出版をやめたのか、その背景にはなにがあったのかを展示します。

「主な展示品」①南方熊楠自筆原稿「屍愛について」

②『南方閑話』『南方隨筆』『続南方隨筆』

③熊楠が投稿した雑誌(『東京人類学会雑誌』『郷土研究』など) 他

会期: 令和8年1月31日(土)~令和8年3月29日(日)(休館日:木曜日)

会場: 南方熊楠記念館 本館2階(西牟婁郡白浜町3601-1)

料金: 入館料のみ必要(大人600円、小人300円、幼児無料)

○ 企画展講演会

神川 隆氏(南方熊楠研究会会員) 「民俗学成立期の小さな雑誌と南方熊楠—著書出版前夜—」

雲藤 等氏(早稲田大学社会科学総合学術院先端社会科学研究所招聘研究員)

「南方熊楠の刊行された著書について—なぜ三冊だけだったのか、その理由を探る—」

開催日: 令和8年2月22日(日)

時間: 午後2時~午後4時

場所: 南方熊楠記念館本館 多目的室

定員: 35名(要予約 ※1月13日よりホームページ、電話で受付)

○ ギャラリートーク(当館学芸員による説明) いずれも日曜日 午後2時から20分程度・申込不要

2月15日 3月15日

〈お問い合わせ〉(公財)南方熊楠記念館

担当:三村(みむら) 電話:0739-42-2872